

# レポート 123 号 米と稲

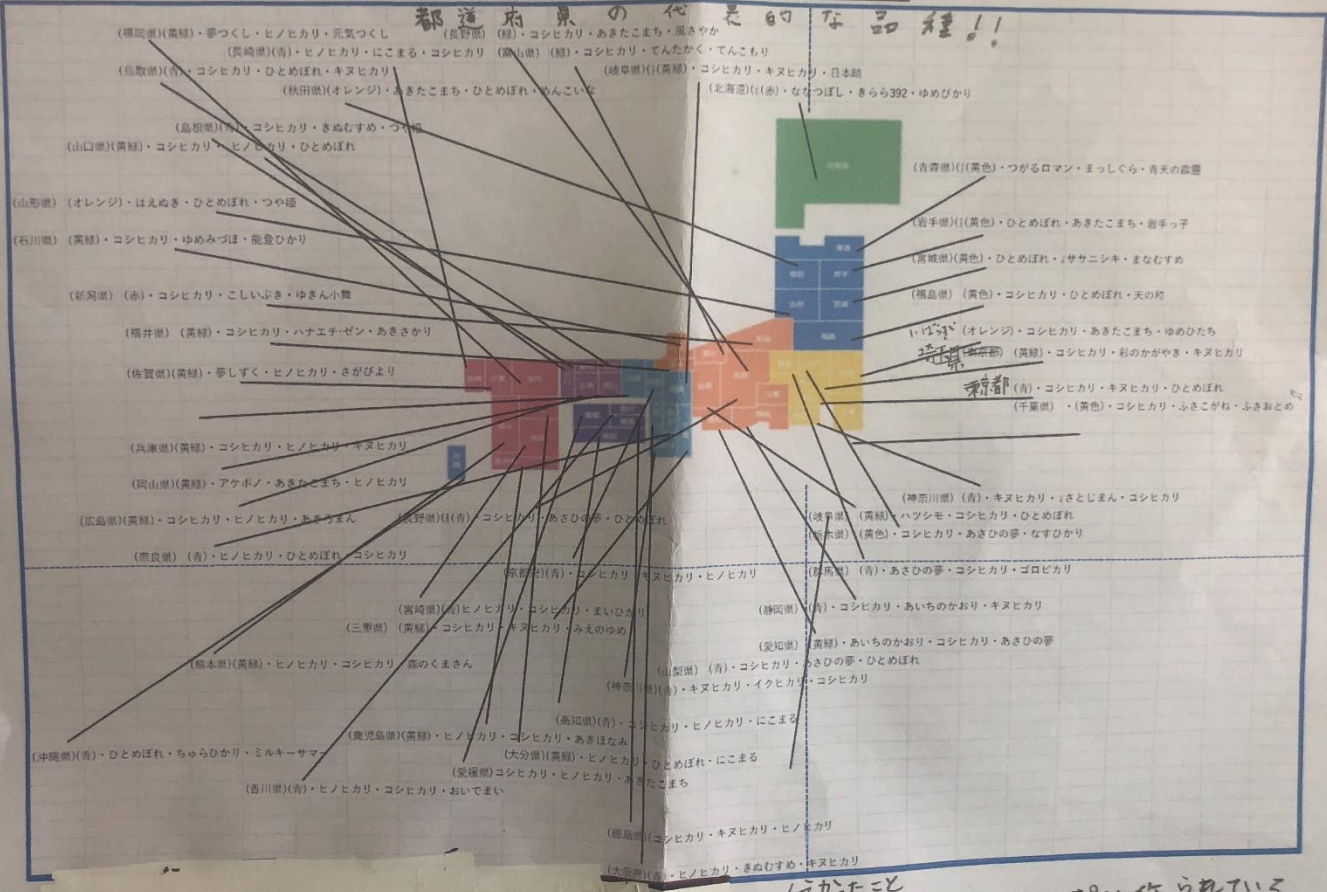
5年生の教室に貼ってありました。  
 豊小っ子が、家で作ってきたものみたいです。  
 よくみると、みんなパソコンで打ってあります。

## いろいろな米と稲

もみは、かたいからでおおわれています。もみからはずしたもみからは家ちくのしき床にしたり、焼いて田畑まいたりして利用される。  
 日本で、いちばんつくられているのはコシヒカリです。しかし、その土地のようすや気こうにあった新しい米も次々に生まれ、さいばいされています。  
 今、日本全国では、1年間に約20品種がうまれています。都道府県が農家にすすめてさいばいしている品種はうるち米が200種類以上、もち米は60種類以上あります。  
 都道府県でつくられている代表的な品種をとりあげました。

60万トン以上(赤)	30万-40万トン(黄色)	10万-20万トン(黄緑):未滿
40万-60万トン(オレンジ):未滿	20万-30万トン(緑):未滿	10万トン以上(青):未滿

### 都道府県の代表的な品種!!



[Redacted]

(書いてあった)

おばさん  
パソコン  
で  
とび!



1分かんごと  
コシヒカリとヒノヒカリがいちばんいい作られている。

それにしても、細かく、よく調べてありますね。